

【M 情報】 2025-10-要田-DairyComp の最新アップデートについて

DairyComp (デイリーコンプ、DC305) は度々アップデートされますが、2025 年 10 月 7 日にバージョン 25.9.がリリースされました。

今回のアップデートでは見た目の変化が大きく、今後のユーザー体験 (UI/UX) の向上に期待が持てるものだと感じましたので、共有いたします。

特に、これまで難解でとっつきづらかったコマンドラインに手を加えた **Assist 機能**や難解な箇所にもぶつかっても即座にヘルプを参照できる **Integrated Help** の搭載により、**DairyComp が一気に親しみやすくなった**と言えると思います。

なお、米国マディソンで開催された World Dairy Expo 2025 でも大きく注目を集めたアップデートとのことです。

※なお、これらの機能は通常自動ではアップデートされず、DairyComp のメニューバー内 Help から[Check for updates]を押下してアップデートをお進めください。また、最新バージョンと現在使用しているバージョンの隔たりがあまりに大きい場合、下記リンクを参考にインストーラーをダウンロードし、インストールを進めてください。

<https://dc-help.vas.com/FAQs/MoveDC305NewComputer.htm>

Assist 機能

コマンドラインに文字を入力し始めると、**ドロップダウンに過去に使用したコマンドやイベント、関連レポートなどの候補が表示**されるようになりました。

アイテム名などのサジェスト機能も搭載されたことで、生産者やコンサルタントユーザーが望み通りのレポートを出力しやすくなりました。

Integrated Help

DairyComp 上の「？」アイコンをクリックするだけで該当機能の説明が即座に表示されるようになりました。操作中の画面からブラウザを立ち上げることなく、その場で疑問を解決できるため、学習コストと作業中断が大幅に軽減されます。使い方に迷ったらその場で確認できる、**これまでツン属性だった DairyComp からの歩み寄りの一歩**と言えるでしょう

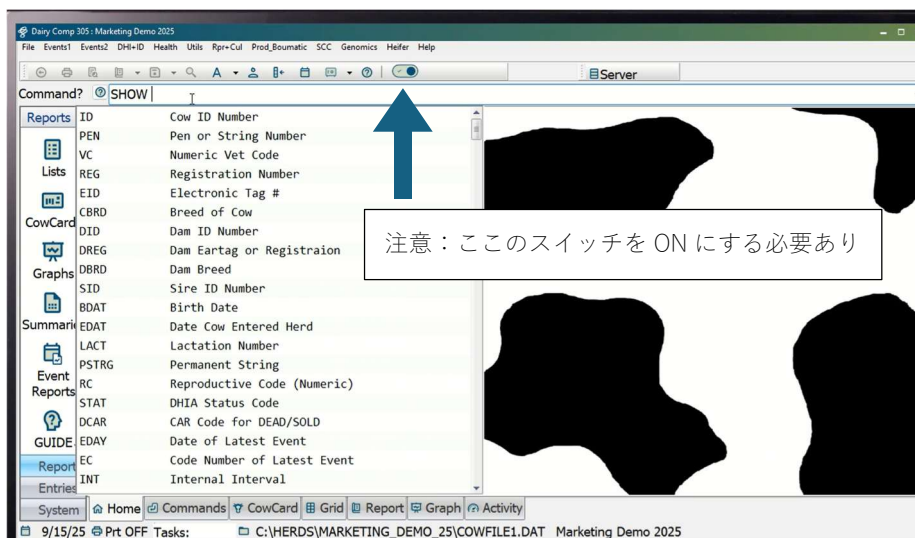


図 1 Assist 機能の例：SHOW と入力するとあとに続く ITEM のサジェスト一覧が表示される

Connection Status

VAS Pulse Platform、バックアップ、パートナー連携などの接続状態をダッシュボードで一括管理できるようになりました。正直一番 DairyComp らしからぬ見た目の機能だと思いました。

接続エラーが発生するとメールやテキストで通知され、トラブルの早期発見・解決につながるということです。これにより、「知らないうちにデータが止まっていた」といった問題を未然に防ぎ、安心して運用できます。

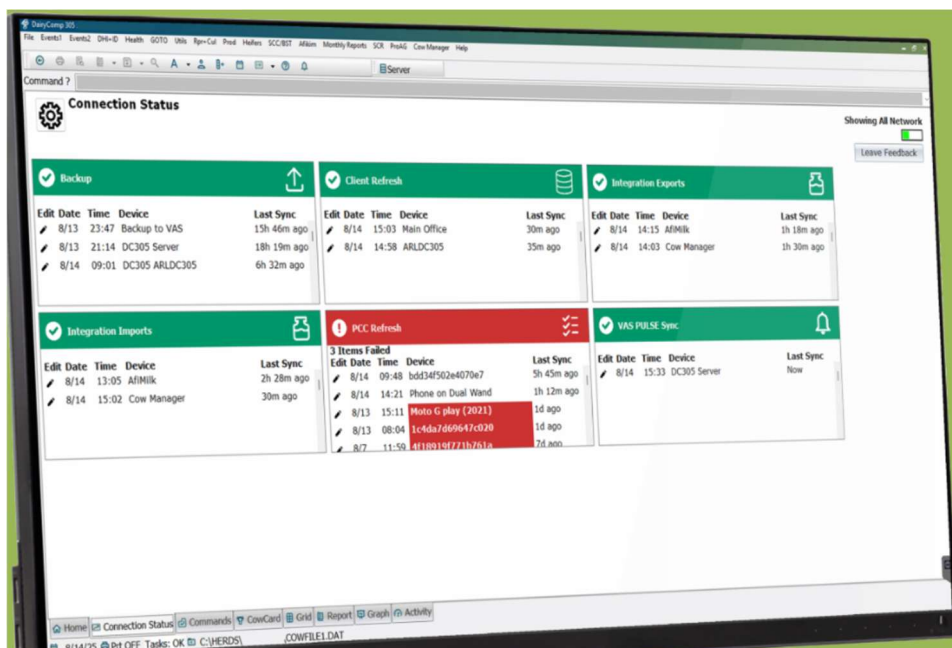


図 2 Connection Status タブが追加され接続状況が一目瞭然に

HerdSights

Pulse Platform 上で動作する新機能 **HerdSights** は、牛群のパフォーマンスを可視化し、アラート設定も可能なダッシュボードです。

カスタマイズ可能なレポートを作成・共有でき、チームメンバーにアクセス権を付与できるため、全員が同じデータをもとに意思決定を行えます。

さらに、パフォーマンス低下を検知した際にアラートを送信することで、**異常の早期対応**を実現します。

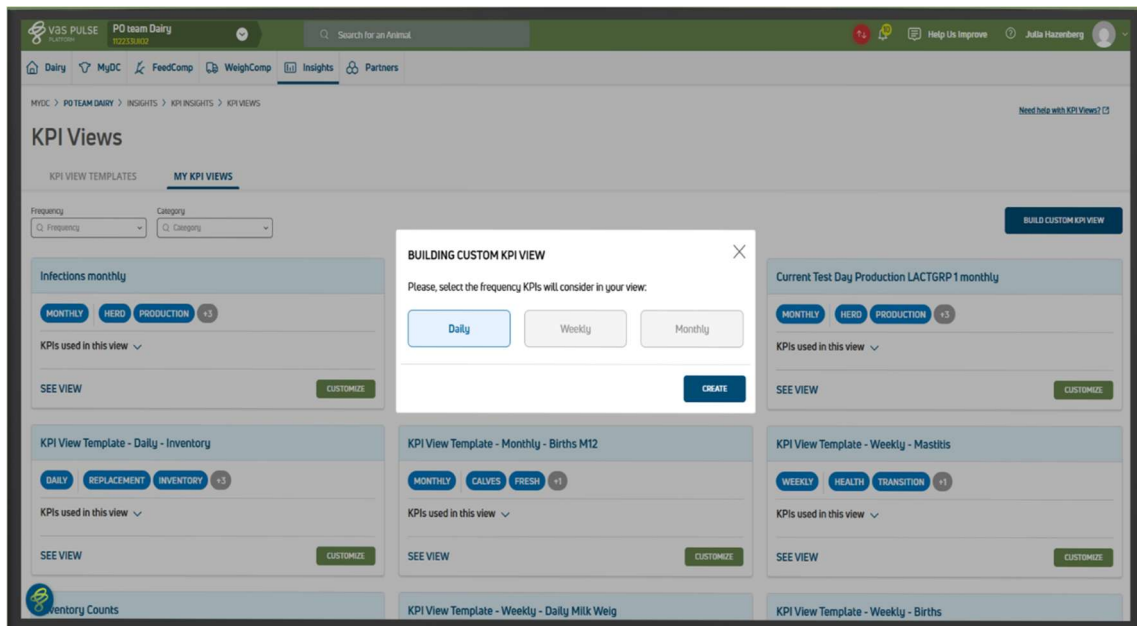


図 3 DairyComp からのパフォーマンスデータのエクスポートを自動化

Cowfile Ver.10 の公開

正式に公開された Cowfile Version 10 では、1 頭あたり最大 254 イベントまで記録可能になりました。主にロボット搾乳システムと連携した場合など、日々大量のイベントが入力される可能性のあるユーザー向けですが、コンサルなどで大量のイベントやアイテムを増やしたい場合にもファイル容量を圧迫する心配がなくなりました。

Pocket CowCard (PCC) と完全連動し、フィールドでの作業効率もさらに向上しているとのこと。

その他の新機能

- **ParlorBoss Reporting**

(大型ロータリーパーラー向けの ParlorBoss との連携機能です)

ロータリーパーラーの分析レポートが PULSE 上で確認可能に。回転速

度や空きストール率を簡単に把握できるようになったとのことでした

- **Pocket CowCard (PCC) 改良**

複数の ToDo リスト統合、スキャンによる自動 PREG 入力、ブリーディンググリッド強化など、モバイル操作性が向上しました。

まとめ

今回のアップデートでは、DairyComp の使いやすさに特にスポットライトが当たったアップデートだったと思います。いままで UI/UX の大幅な改善がない中、突如としてユーザーの使用感に関するアップデートが入ったことで、今後の DairyComp の操作感の改善にも期待が持てそうです。“専門家向けツール”の印象が強かった DairyComp が、今後はより多くの現場ユーザーに受け入れられるプラットフォームへと進化していくことが期待されます。

残念ながら、日本語への対応はまだできていませんが、こうしたとっつきづらさの改善から日本のユーザーが増えることで日本語化プロジェクトも始動することがあるかもしれません。なるべく、日本のユーザーの期待に応えられるよう努力いたしますので今後ともどうぞよろしくお願いいたします。